



### 刈り取り時期が早まる予想です！適期刈り取りで高品質米を目指しましょう！

今年は6月下旬から気温の高い日が続き、真夏日が21日（碓ヶ関アメダス）記録されていることから、登熟が例年より早く進み、稲刈りの時期はかなり早まる予想となっています。

コンバインや乾燥機など刈り取りの準備を早めに行い、スムーズに刈り取りへ入れるよう計画的に作業を進めていきましょう！

また、今年は出穂後に30℃以上の高温が続いたため胴割粒の発生が心配されることから、落水時期を守るとともに、適期刈り取りを心がけましょう！



#### 1. 積算気温から予想される刈り取り適期(8月15日現在)

積算気温から予想される刈り取り始めは、平年よりかなり早い予想となっています。

品 種	出 穂 期 (穂が圃場の40～50%出穂)		積算気温による刈取適期 (碓ヶ関アメダス参照)
	唐牛 生育観測圃	8月5日	
つがるロマン 積算気温 960℃～1150℃	唐牛 生育観測圃	8月5日	9月21日～10月2日
	JA 平均出穂日	7月31日	9月13日～9月23日
まっしぐら 積算気温 960℃～1200℃	碓ヶ関 生育観測圃	7月30日	9月12日～9月25日
	JA 平均出穂日	7月28日	9月9日～9月22日
青天の霹靂 積算気温 900℃～1100℃	森山 生育観測圃	7月28日	9月5日～9月13日 (弘前アメダス参照)
	JA 平均出穂日	7月27日	9月4日～9月12日 (弘前アメダス参照)



#### 2. 水管理 → 出穂後に高温が続いたことから、胴割粒の発生が心配されます！落水時期を守りましょう！

出穂後に高温が続いたことから、胴割粒の発生など品質の低下が心配されています。落水のタイミングは米の品質に大きく影響しますので、8月後半まではできる限り水田に水が入っている状態を保ちましょう。

時 期	水 管 理	コ メ ン ト
登熟期 (8月中～下旬)	気温の高い日…2～3cm、時々入れ替え 気温の低い日…10cmの深水	湿田や秋落田では、根の老化を防止するため、掛流しや土壌に軽く亀裂が入る程度の間断かんがいを行いましょう！
落水期 (8月最下旬～)	落水の目安 湿田…出穂後 20～25日 乾田…出穂後 30～35日	早期に落水すると、玄米の肥大が抑えられるため、収量や品質の低下が心配されます。

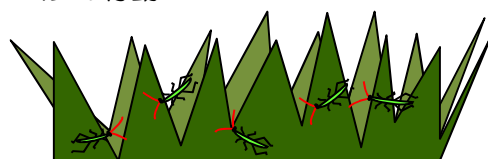
#### 3. 斑点米カメムシ類防除

今年は例年に比べ、斑点米カメムシ類の発生量が多くなっています。カメムシの被害粒は、検査では1,000粒あたり2粒の混入で2等米に落等してしまうことから、きちんと対策を取り被害を防がなければなりません。

薬剤散布も大事ですが、カメムシの被害を減らすためには、耕種的防除として9月上旬まで畦畔ならびに周囲の草刈りをしないことがポイントです。草刈りをするとカメムシを田んぼに追い込み、被害が増える心配がありますので絶対に行わないでください。

等級	1等	2等	3等	規格外
千粒の着色粒混入限界	1粒まで	3粒まで	7粒まで	8粒以上

カメムシの行動



草を刈ると・・・

